生きがい世田谷の会　例 会 報 告　2013 年 10 月

日時・会場　‘１３年 10 月 18 日(土)１４:００～１６:００・らぷらす研修室

出席者　石浦、卜部(晋)、岡本、久木田、沢木、中島、沼田、長谷川、服部、松島　渡辺、吉田以上 12 名

発　表　澤木 紀慶「シニア住宅の動向」

1. シニア住宅には**公共型**の特別養護老人ホーム（特養)、介護老人保健施設(老健)、介護療養型医療施設(療養病床)、グループホーム、ケアホーム等と**民間型**の有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅(サ高住)に大別される。「特養」に代表されるように公共型の施設は供給が需要に追い付いていない。民間型の「サ高住」は 2011 年の法改正により創設されたもので国土省と厚労省の共管となっており、近時増加傾向にある。なお、療養病床は平成 24 年 4 月に廃止することとなっていたが、入院者が移動する場所がないなどの理由で廃止延期となっている。
   民間型の老人ホームなどは高齢社会における成長分野としていろいろな業種から参入が続いている。
2. 急ピッチの高齢化とともに高齢者を取り巻く環境は一段と厳しくなっている。即ち住生活での不安、医療介護の不安、生活の不安である。
   終の棲家をどうするか。要介護者の増加が予想されるが、現在でも不足している介護職員を調達できるか。介護費用など社会保障費の増加が予想されるが、財源は大丈夫か、国家財政そのものが危うくなっているのではないか、などなど
3. 政府は介護情報を電子化するなどして介護事業を成長市場として戦力化、民間企業の導入促進を目指している。(要するに特養など高コストの公的施設の増加に歯止めをかけ、民間施設を増やす、または在宅型介護の仕組にあらためようとするもの。公助から共助・自助へ)

☆　　☆　　☆

会員の中島さんはすでに有料老人ホームに入られて 2 カ月経過しているとのことであります。また、独居生活をされている仲間もおられます。シニア住宅の問題はすでにわれわれにとって身近な問題となっています。
いざという時のために、日頃から多くの情報を集めて考えておくことが必要だと感じました。備えあれば憂いなしです。それにしても介護のお世話にならないよう、日頃よりウォーキングなどして介護予防することが重要です。GNP、元気で長生きそしてポックリで行きたいものです。

なお、政府は、日常生活や介護に不安を抱く「高齢単身・夫婦のみの世帯」が、

特養等の施設への入所でなく住みなれた地域で安心して暮らすことを可能にする「地域包括ケア」システムの導入を考えております。【吉田】

議事・報告

「生きがい気功教室」

会員の西崎孝夫さんが講師の「生きがい気功教室」が毎週木曜日１８時１５分からひだまり友遊会館２階第２会議室で実施されています。区報に来月案内を掲載します。知人･友人などにＰＲしてください。

今後の日程

１０月２６日（土） サロン生きがい　１４時～１６時　ひだまり友遊会館１階
１１月１３日(水) サロン生きがい　１４時～１６時　ひだまり友遊会館１階
１１月１４日(木) 生きがいウォッチング「鎌倉」　江ノ電江ノ島駅１１時集合
１１月１６日(土) 例会　１４時～１６時　らぷらす
１２月２１日(土) 例会　及び「ハートリフレッシュ・パーティ」予定

以上